



# もいおかYMCA ニュース



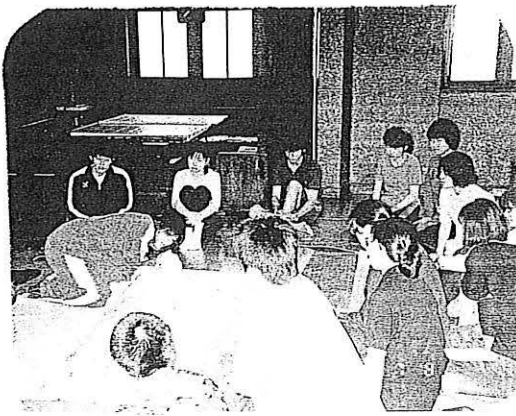
キャンプの準備、着々と進展中

## 救急法トレーニング実施！！

YMCAでは、夏のキャンプ開催に向けて準備が着々と進んでいます。中でも、キャンプを通して子供たちと寝食をともにする、大学生のボランティアリーダーのトレーニングが一番重要なことながらと言ってよいでしょう。

盛岡YMCAでは、6月の第1週から、毎週リーダートレーニングを実施してきてきました。子供の理解、キリスト教理解、キャンプ実技、YMCAキャンプの理論、キャンプ実践、安全理解、食品衛生と内容は多岐にわたります。

7月8日(土)は、盛岡中央消防署の協力のもと、救急法の訓練を行いました。15名のリーダーが参加し、YMCAの教室には、入りきれないので、内丸教会の会堂をお借りしました。参加したリーダーはみな真剣に一つ、一つの訓練に取り組んでいました。



消防署の指導員の方の説明を真剣に聞くリーダー達。

## いろいろ手作り教室 夏の冷たいお菓子



お母さんを対象とした教室、「いろいろ手作り教室」が、7月6日(木)盛岡YMCAで行われました。

5名のお母さん達が出席し、夏に向けて気軽にできるお菓子作りに挑戦しました。テレビ岩手にも出演している伊藤 真弓先生のご指導のもと、ブランド入り紅茶のムースを作りました。



## 前期 終了のお知らせ

前期のYMCAの活動は今週(7/10~7/15)で終了します。後期は、8/21から開始いたします。

\*水泳教室のみ、7/19もクラスがございます。

## ラポール

### RAPPORT

相手と向き合って心を合わせ  
ていくこと

(仏語:親和・共感的関係の意)

平和と豊かさの中で、高度経済成長以後の日本における社会変動には、目を見張らせられるものがある。しかし、子供の臨床に身を置きつづけている専門家の立場からすると、彼らの成長・発達をめぐる諸環境は劣悪の一途をたどっているように強く感じさせられる。

病院出産、紙おむつ、缶詰離乳食に示されるような流行は、人間のいのちの誕生にともなう感動を極めて薄めてしまう結果を招いている。消費文明社会の中において、いまや子供を育てることは、厄介なお仕事に成りはてしてしまっている。対人関係の環境が、非常に希薄になってしまっている、ということである。

この現象は家庭にとどまらず、学校・地域社会など、子供にとっての日常生活空間に立ち込めている雰囲気である。

このような状況のなかで、家庭や学校そのものが、一つの密室と化してしまっていて、閉ざされた空間になっている。そこでは、文化の伝達としての「教育」がなされているはずだが、すでに伝えるべき文化価値の規範が見えにくくなっていて、悪しき流行が完全に支配してしまっている。したがって、才能開発、ブランド志向的高学歴の追及、守銭奴育成路線などが主流となっていて、子供たちは限りなくモノ化され、私有材にさせられてしまうことになる。

このような息苦しい環境に対して、一部の子供たちは助けを求める悲鳴や異議申し立てなど、さまざまな行動や症状などをとおして訴える。不登校、いじめ、引きこもり、常習売春などは氷山の一角であり、児童虐待などもその一環である。

日本の子供たちは、不幸と絶望の中で、彼らの心の闇をますます深める一方なのである。

(児童精神科医

河合 洋)